

平成28年度 日本教育大学協会 全国美術部門協議会 第55回 大学美術教育学会



2016年 9月24日(土)・25日(日) 北海道大会

会 場： 北海道教育大学 札幌校
札幌市北区あいの里5条3丁目
主 催： 日本教育大学協会全国美術部門
大学美術教育学会
共 催： 北海道教育大学
企画運営： 北海道大会実行委員会

【第二次案内】

1 北海道大会テーマ

「美術と教育における地域の多様性」

※ 同テーマによるシンポジウムを第1日 9月24日(土) 15時20分より開催します。

発表者： 南部 正人 北海道教育大学旭川校教授
三橋 純子 北海道教育大学岩見沢校教授
岩崎 愛彦 北広島市立大曲小学校教諭
進 行： 佐々木 宰 北海道教育大学釧路校教授

2. 参加費

会員・一般 事前申込：4,000円 当日申込：5,000円
院生・学生 事前申込：2,000円 当日申込：3,000円 ※現職教員含む。
懇親会：5,000円 (会場：サッポロビール園 札幌市東区北7条東9丁目2-10)

3. 申込方法

北海道大会の参加及び発表申込は、**e-naf+ (オンライン大会登録受付システム)**で行います。学会ホームページ (<http://www.uaesj.com/>)より、**口頭発表及びポスター発表申込については 8月9日(火) 13時まで、参加申込については 9月1日(木) 13時まで**に申し込んでください。参加申込は当日でも可能ですが、印刷物等の準備もございますので、オンライン登録と一次案内に同封した払込取扱票にて9月1日(木)までの送金をお願いします。

【オンライン大会登録受付システムについての注意事項】

申込期限・時間を過ぎるとオンラインシステムで登録は出来なくなります。また、メールでの受付は行っておりません。余裕をもって、期限までに登録してください。

【発表についての注意事項】

- 発表には大学美術教育学会会員の資格が必要です。 ※責任発表者だけでなく共同発表者も必須です。
- 大学美術教育学会の年会費未納では発表できません。発表予定の学会員は、必ず8月末までに平成28年度までの会費を全納してください。
- 口頭発表及びポスター発表の研究発表概要集の原稿の入稿は、8月9日(火) 13時(厳守)までにオンラインシステムで済ませてください。

【注意事項】

※宿泊斡旋は行いません。この時期大変込み合いますので各自で早めに確保願います。

※第1日の研究発表後の懇親会場への移動は各自でお願いします。

北海道大会の開催にあたりましては、日本教育大学協会全国美術部門協議会・大学美術教育学会の皆様、中西印刷株式会社の方々、関係者の皆様に様々な面から支えていただき、北海道大会実行委員会を代表いたしまして心から御礼申し上げます。

北海道ではこれまで、1976（昭和51）年と1985（昭和60）年に北海道教育大学札幌校で、1994（平成6）年には北海道教育大学函館校で、2003（平成15）年には北海道教育大学旭川校において、大学美術教育学会が開催されてきました。それらの経緯を踏まえて、「今回の北海道大会はどのような場になることを願っていますか」と問われれば、「一人一人が未来に対する責任を考える場になることを願っています」と答えます。責任感の欠如による事故や事件など、過去・現在・未来を俯瞰すれば、次世代の教育を考える上で「責任」は重要なキーワードになるからです。

では、責任とは何を意味するのでしょうか。端的に言えば、責めを引き受けるということです。これから起こる事柄や決定に対する責任を「未来に対する責任」とすれば、すでに起きた事柄やすでに為された決定や行為に対する責任、またはそれを説明する責任を「過去に対する責任」ということができます。「失敗は成功のもと」という言葉で表現できることもあります。いくら謝罪したとしてもあるいは職を辞したとしても取り返しのつかないことが存在するというのを忘れてはなりません。「過去に対する責任」として、元に戻そうとしても元に戻すことができない状況があるということです。生命に関することはその最たるものといえます。取り返しのつかないことが起きないように、事前にリスクを考えて対策を練ることが必要です。言い換えれば、未来に対する責任を一人一人が考えるということになります。

それでは、未来に対する責任を考えるための場にはどのような事例があるのでしょうか。私は、4年間、北海道教育大学附属札幌中学校に勤務しました（大学と兼務）。3年生とともに修学旅行で訪れた長崎原爆資料館がそうした場の一例になると考えます。次のような出来事があったからです。先を進んでいた生徒数名が一枚の写真の前で棒のように立ち尽くしてしまいました。近づいてその写真を見ると少年（10歳くらい）が小さな子どもを背負いながら直立不動の姿勢で立っていました。裸足の少年は歯をくいしばりじっと前を見つめています。写真は原爆投下後の長崎に入ったアメリカの従軍カメラマンが撮ったものでした。眠っているように見えた小さな子どもは少年の弟（2歳くらい）であり、すでに亡くなっていたのです。火葬の順番を待ちながら、悲しみを少年は必死でこらえていたのです。（※この写真は、ジョー・オダネルが撮影したもので題名は「焼き場に立つ少年」（『トランクの中の日本 米従軍カメラマンの非公式記録』小学館、1995に掲載）。立ち尽くした生徒は、言葉では簡単に表現できないほどの原爆や戦争の悲惨さという現実の重さに圧倒されたのだと思います。長崎原爆資料館は、平和や生命の共存という今後の人類の在り方について、他人事ではなく、自分たちの問題として考えるための貴重な体験の場になったのです。

本大会テーマ「美術と教育における地域の多様性」は、ユネスコの「文化的多様性に関する世界宣言」（2001年）及び我が国の「文化多様性に関する基本的な考え方について（報告）」（文化審議会、2004年）を踏まえたものであり、前述した「未来に対する責任」につながる大事な観点として「多様性」に着目したものです。第1日目（9月24日）におけるシンポジウムのタイトルでもあります。地域文化振興、教員養成、小・中・高等学校及び特別支援学校の教育など、それぞれの立場から、多様性に関わる課題について考えます。

最後になりましたが、北海道大会での企画行事、研究発表、総会、懇親会など、あらゆる場を通して、未来に対する責任を考え、その成果が日本の教育、さらには世界の教育の充実・発展に寄与できますことを期待して、平成28年度日本教育大学協会全国美術部門協議会・第55回大学美術教育学会「北海道大会」のご挨拶といたします。

■ 大会前日の諸会議 9月23日(金) - 各委員会, 役員会

【北海道教育大学札幌駅前サテライト (JR55ビル4F) 中央区北5条西5丁目7】

12:30-13:00	受付 (諸会議の30分前から受付を実施します。)
13:00-13:30	拡大総務局会議【正副理事長・正副代表・総務局委員】※教室1
13:30-14:20	全造連大学委員会【部門委員会委員】※教室2 ※全国大学造形美術教育連絡協議会 (美術部門と全美協の懇談会)
14:20-15:20 ※ 審議延長 -17:00迄	全国学校美術教育支援委員会【部門委員会委員】 ※応接室 国際交流委員会【学会委員会委員】※多目的室/学会誌委員会【学会委員会委員】※教室3/ 全美協役員会【私学】 ※教室2
15:10-15:30	受付【部門・学会共通】
15:30-16:30	拡大理事会【学会理事役員会+部門委員役員 (共通審議事項を含む)】 ※教室1
16:30-17:10	美術部門協議役員会【部門委員役員】 ※教室1

■ 第1日 9月24日(土) - 講義棟・講堂【北海道教育大学札幌校】

09:00-	部門・学会受付	講義棟入口 (右側)
09:30-10:00	日本教育大学協会全国美術部門 開会式 第55回大学美術教育学会北海道大会 開会式	講義棟 3F 305
10:00-11:25	日本教育大学協会全国美術部門 協議会 (日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会 合同)	講義棟 3F 305
11:30-12:00	口頭発表①	講義棟 3F 304, 305, 306, 307, 308
12:00-13:00	昼休み (※学生食堂をご利用下さい) 全美協総会 (※講義棟 2F 208)	福利厚生棟 1F (講義棟左側)
13:00-15:00	口頭発表②-⑤	講義棟 3F 304, 305, 306, 307, 308
15:20-16:50	シンポジウム「美術と教育における地域の多様性」	講堂(講義棟 2F 出入り口)
16:50-19:00	懇親会場へ移動 (JR札幌駅北口より直通バスがあります。)	
19:00-21:00	懇親会 (※テーブル席による会食形式です。)	サッポロビール園 (トロンメルホール) (札幌市東区北7条東9丁目2-10 011-742-1531)

※会場周辺に昼食の施設がほとんどありません。大学の食堂をご利用ください。(献立は2種類のみです)

※口頭発表用のPCをご持参ください。コネクターはRGBのみ対応です。

※懇親会直前の申し込みは会場準備の関係からご遠慮ください。事前の申し込みをお願いします。

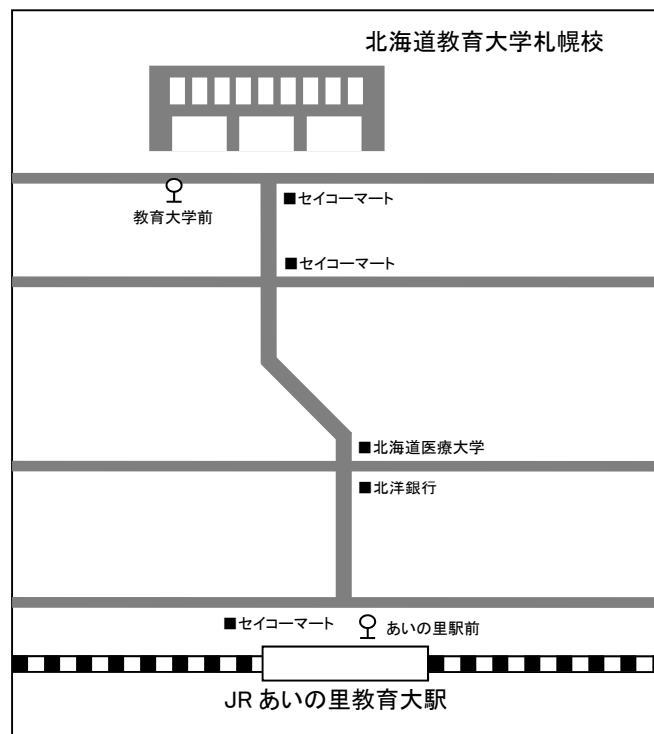
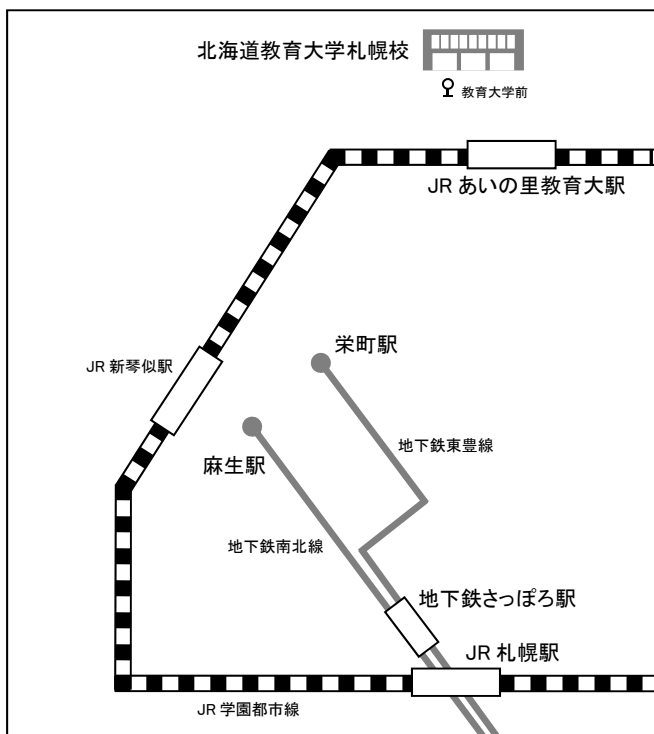
■ 第2日 9月25日(日) - 講義棟・講堂【北海道教育大学札幌校】

09:30-	部門・学会受付	講義棟入口 (右側)
10:00-12:00	口頭発表⑥-⑨ 全国美術教育学生会議①	講義棟 3F 304, 305, 306, 307, 308 講義棟 2F 211
12:00-13:00	昼休み (※学生食堂をご利用下さい)	福利厚生棟 1F 学生ホール(講義棟左側)
12:30-13:30	ポスター発表	福利厚生棟 1F (講義棟左側)
13:00-15:00	口頭発表⑩-⑬ 全国美術教育学生会議②	講義棟 3F 304, 305, 306, 307, 308 講義棟 2F 211
15:10-15:40	日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会 総会	講義棟 3F 305
15:50-	引き継ぎ (広島大学)	講義棟 2F 212

※第2日の終了時刻は、口頭発表の申し込み数によって変更されることがありますのでご承知おきください。

※第2日のポスター発表は1F学生ホール前で行います。研究説明を12:30-13:30の間に行います。

◆北海道教育大学までのアクセス（注：札幌中心部から50分ほどかかります。）



*札幌中心部から北海道教育大学までは以下の4ルートがあります。

①JR 学園都市線→徒歩	JR「札幌駅」より26分、JR「あいの里教育大駅」で下車。 「あいの里教育大学駅」から徒歩20分。
②JR 学園都市線→バス	JR「札幌駅」より26分、JR「あいの里教育大駅」で下車。 中央バス「あいの里駅前」から「麻24」「栄23」「栄20」（すべて「あいの里4条1丁目」行き）で5~10分、「教育大学前」で下車。
③地下鉄南北線→バス	地下鉄さっぽろ駅より10分、地下鉄南北線「麻生駅」で下車。 中央バス「麻生ターミナル」から「麻24」（「あいの里4条1丁目」行き）で34分、「教育大学前」で下車。
④地下鉄東豊線→バス	地下鉄さっぽろ駅より10分、地下鉄東豊線「栄町駅」で下車。 中央バス「地下鉄栄駅」から「栄23」（「あいの里4条1丁目」行き）で30分、「教育大学前」で下車。

◆懇親会場（サッポロビール園）までのアクセス

サッポロビール園までは、直通バスがあります。

JR 札幌駅北口2番乗場から「系統番号188」で約7分です。（約20分間隔でバスが出ています。）

<問い合わせ先>

■オンライン登録システムに関する問い合わせ

中西印刷 大会システムサポートデスク

（参加申込・発表申込・概要集）

Tel 075-415-3661 E-mail : uaesj55@nacoss.com

■大会に関する問い合わせ

教大協全国美術部門・大学美術教育学会北海道大会実行委員会

事務局長 阿部 宏行（岩見沢校） abe.hiroyuki@i.hokkyodai.ac.jp